

南部医療センター・こども医療センターで4月に発生した 新型コロナウイルス感染症の院内感染およびクラスターのご報告

当院では本年4月に院内感染が発生（令和3年4月13日）し、状況を逐次南部保健所を介して沖縄県コロナ対策本部へ報告してまいりました。3日間のうちに5名の陽性者が発生した後、4月末に終息した本事例は、クラスターと認定され「南部保健所管内の医療機関で発生したクラスター」として沖縄県より5月に公表されておりますが、病院名は明らかにされておらず、また当院からその経過や対策、院内感染の終息を情報発信することがないまま今日に至ったことで、皆さまにご心配、ご不安をおかけしてしまいました。

沖縄県では、7月2日に県立病院でのクラスター事例（5名以上の陽性者が発生例）は、病院名を明らかにして公表するという方針が病院事業局にて決定されたことに伴い、当院の事例について以下にご報告いたします。なお7月7日時点で、当事例に関する新聞報道に一部事実とは異なる部分がありますので、時系列に沿って事実を正確に記させていただきます。

【概要】

当院A病棟に勤務する職員1名と同病棟に入院されていた患者さま4名が4月13日～15日の間に相次いで新型コロナウイルス感染症に罹患していると判明した。4名の患者さまのうち3名は回復し退院されたが、基礎疾患を有する80歳代男性1名は残念ながら発症から1ヶ月後にこの感染症のため死亡された。職員1名は無症状であった。病院は第1例目の発生時から徹底した対策を行い感染症を封じ込め、4月30日をもって本事例は終息した。

【発生から終息まで】

4月13日

10:30 A病棟の4人部屋A01号室に長期入院しており近日転院予定であった①氏に発熱があり、受入先病院の求めに応じてPCR検査を行ったところ陽性と判明した。急ぎ、同室の患者3名と、①氏と接触があった職員（医師・看護師ほか）34名に対しPCR検査を行ったところ、14:30には同室の患者②氏もPCR陽性と判明した。

4月14日

16:00 までに前日のPCR検査の結果がすべて判明し、A病棟職員1名③氏が陽性（無症状）であった

4月15日

A病棟の他病室の発熱患者2名と、③氏と接触があった患者8名に対しPCR検査を実施し、13:30にはA01号室から離れた4人部屋A03号室の発熱患者④氏が陽性と判明した。A病棟全体に感染が拡大していると判断し、A病棟の全入院患者25名と病棟に出入りがあった全職員91名のPCR検査を実施したところ、23:50 4人部屋A02号室の患者⑤氏も陽性と判明した。

4月16日

前日までのPCR検査の結果がすべて判明し、患者⑤氏以外には陽性者はなかった。

1例目が判明した4月13日以降、感染が判明した患者さま、濃厚接触者となった患者さまは逐次感染症病棟へ移動していただいて治療と経過観察を行った。A病棟は病棟閉鎖として新たな入院患者の受入を停止し、入院中の患者さまの他病棟への移動を禁止した。

5例目が判明した4月16日以降、14日間にわたって新たな感染者の発生がないことを確

認し、院内感染は終息したと判断して4月30日をもってA病棟の閉鎖を解除した。

【感染者の経過】

今回の院内感染で、入院患者4名と職員1名の計5名が新型コロナウイルス感染症に罹患し、うち4名はすでに治癒し社会生活に戻っている。基礎疾患の治療のため入院中であった80代男性1名は治療及ばず、発症から1か月後にこの感染症を契機とした器質化肺炎、呼吸不全のため死亡された。

【お詫び】

亡くなられた患者さまとご関係のみなさまに深くお詫び申し上げるとともに、患者さまのご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、感染した患者さまおよび濃厚接触者となり行動を制限された患者さま、不快な検査にご協力いただいた患者さまに対してもご心配・ご負担をおかけし、大変申し訳ありませんでした。入院中であった方々のみならず、地域のみなさまにもご心配をおかけしたことも本当に申し訳なく、お詫び申し上げます。

【これから】

沖縄県で県立病院のクラスター公表基準が定められたことを受け、今後は県からの発表に加えて、病院でも独自に本ホームページを通じてみなさまに経緯をご報告申し上げます。今回の院内感染事例の教訓を、他の医療機関と共有し、今後の対策に活かしてまいります。

補) 当院では職員が罹患して感染を持ち込むことがないように3月から新型コロナウイルスワクチン接種に取り組み、4月上旬までには58%の職員が2回の接種を終えていましたが、今回罹患した職員は当時まだ未接種でした。ワクチン接種はその後も数次にわたって行っており、現在は職員の95.8%が接種を終えています。

令和3年7月8日
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
院長 和氣 亨